

授業研究部(中学校)9月例会

9月13日(水)昭和橋中学校に、名古屋市教育センターの伊藤 大和 指導主事を講師にお迎えし、国語科の授業におけるタブレットPCの活用方法についてお話をいただきました。

1. アイスブレイク

コラボノート(複数の人が同時に1つのワークシートに書き込みすることができる)を使って、4人一組で「愛知の魅力をたくさん挙げるゲーム」を行いました。同じ組の人が挙げた事柄をリアルタイムで目にするのができ、大変盛り上がりました。

授業ではロイロノートを使用している先生方が多いかと思います。コラボノートを使って面白い授業が展開できるのではないのでしょうか。



2. タブレットの活用について

伊藤指導主事が「タブレットの使用について大切なことは、『育成したい資質や能力を意識すること』と明言されました。そのうえで、「タブレットPCを活用した3つの場面」の指導のポイントを、具体的な場面を挙げながら紹介してくださいました。

場面① 一人一人に対応する

【ポイント】活動を進めていく際の留意事項を自分で確認できるようにする。

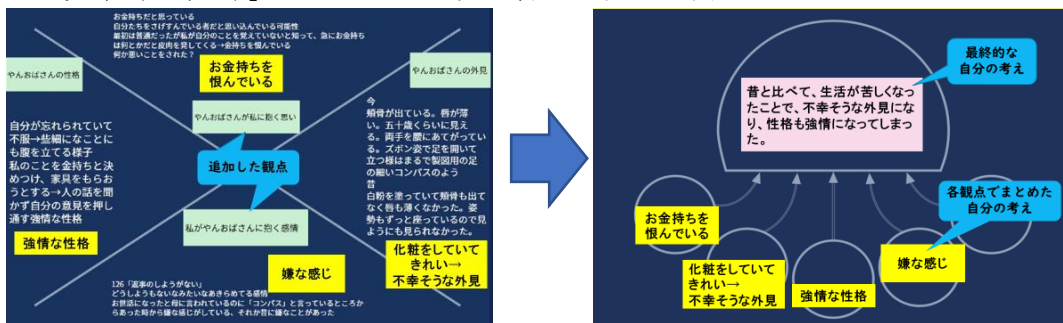
- 自分に必要な資料を選んで、参考にしたり使ったりすることができる。
- カメラや動画で撮影して、自身の様子を客観的に評価することができる。

場面② 考えを整理する

【ポイント】国語科の指導事項が身に付くように、シート等を活用する。

- シンキングツールを切り替えることで、多角的に考えたり、自分の考えを比較しやすくなったりする。

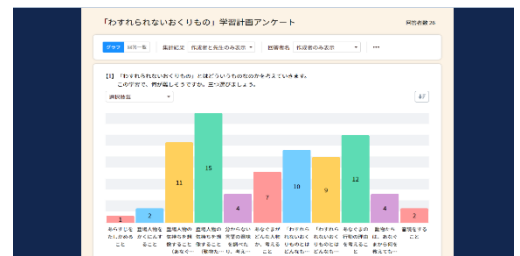
※ 「故郷(3年生)」でのシートの切り替えを行った例



場面③ 考えを共有する

【ポイント】共有したことをどう生かすか。

- 見通しをもたせるために、単元の導入で「この学習で、どんな力を付けていくか」というアンケートをとり、その結果を右のグラフのように示し、学級全体として本学習で身に付けたい力を共有する。



後半は、参加者から挙げられた質問(「結論がはっきりしてないと思われる教材について、どんな授業展開が考えられるか?」など)について、発問の例やそれぞれの考えを話題にすることができました。

今後も、日ごろ先生方が感じている疑問や悩みを解決できる授業研究部でありたいと考えています。もし、授業研究部(中学校)で扱ってほしい教材や分野があれば下記までお知らせください。よろしくお願いいたします。

○ 問い合わせ先: 大森中学校 熊谷

Tel: 798-2900 FAX: 799-0465 E-mail: kumagai13@nagoya-c.ed.jp

※ スズキ校務のメッセージでも構いません